

外縁付鈕2式 横型流水文 外2横流 3対耳兄弟

「外縁付鈕2式」 横型流水文 外2横流 3対耳兄弟

○島根県 雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡） 5号鐸

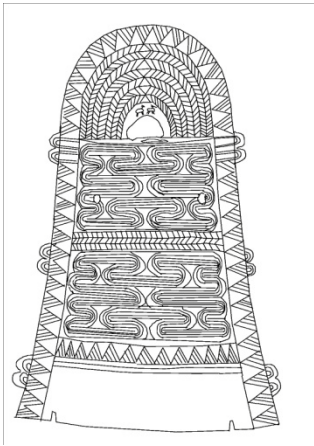
○兵庫県 豊岡市気比（溝口） 2号鐸

☆島根県 雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡） 5号鐸 高さ45.1cm
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画3対耳 島根県立古代出雲歴史博物館蔵

☆兵庫県 豊岡市気比（溝口） 2号鐸 高さ45.2cm
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画3対耳 東京国立博物館蔵

A面

観察想像スケッチ



45cmクラス 2区画の流水文
脚が一箇所だけある3対耳 B1タイプ

横帯上は 綾杉文Z

横帯下は 鋸齒文

この銅鐸は 鈕部分 内縁に鹿2頭

A面 鈕部外側から内側へ

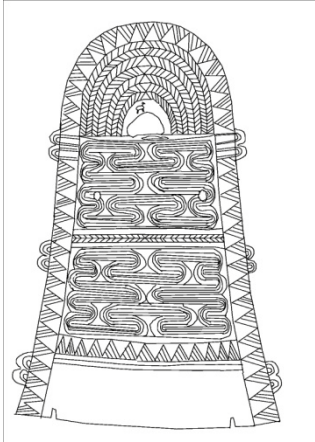
- 1列目 鋸齒文
2列目から4列目 綾杉文 C・Dがダイヤ頂点となる
5列目 平行斜線文 L・Rが頂点で交わる

緒部分は 通常の鋸齒文 右側がL 左側がR

身の文様は 上・下面ともに 8c7x
綺麗に出来上がっている 横型流水文です

横帯の綾杉文が特徴となりますね

B面



まず鈕から

B面鈕部分は外側から内側へ

1列目 鋸齒文

2列目から4列目 綾杉文 C・Dがダイヤ頂点となる

5列目 平行斜線文 L・Rが頂点で交わる

B面も内縁に鹿の絵画 こちらは 現存一頭ですが

出来上がりは A面と同じ2頭だったような気がします

身について

横帯 上 綾杉文 C・D 一帯で X交点となっている A面との違いは ここです

横帯 下 鋸齒文

身の文様はA面とおなじ 8 c 7 x

緒部分は A面と同じ

A・B面 ほとんど同じなのに どうして 横帯上だけ違うのか？

このあたりの 職人さん達の考え方がどうしても わからん